

令和元年度徳島県田園環境検討委員会
環境配慮実績報告書

徳島県 農山漁村振興課

令和2年3月

農業農村整備事業の環境配慮 計画・実績(R元年度)

令和2年3月現在の状況

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	主な環境配慮の計画		主な環境配慮の実績		モニタリング 結果等・(予定)
						環境配慮 5原則		環境配慮 5原則		
46	H24	経営体育成基盤 整備事業	長生西部 大谷工区 (阿南市)	ほ場整備	希少植物 (ウマスケ、ミスヅカモ ジ)	⑤代償	・個体を類似地へ移植する。	⑤代償	・計画どおり(生息位置の確認後、 移植する個体を採取し、一時的に 仮移植。移植先の代償池を整備し た後、本移植)。	未
50	H26	老朽ため池等整備 事業	源太池 (阿波市)	ため池堤体改 修	希少植物 (ココモヅル)	④軽減/消 失	・個体及び埋土種子を含む表土を、 影響の無いところに仮置きし、工事 後に戻す。また、事前に種子を採取 し、工事後に播く。	④軽減/消 失	・保護育成していた個体を現地に移 植した。	・個体の生育を確認 (R3までモニタリングを 継続する)。
57	H28	老朽ため池等整備 事業(農業用河川 工作物応急対策 事業)	神野 (海陽町)	堰改修	魚類	②最小化	・右岸側魚道の破損による漏水を 修復し、新たに詰め石により魚道部 の水深・流速に変化を設け、遊泳 力の弱い魚種でも機能する形式と する。	②最小化	・計画どおり(魚道の修復にあたっ て、水深・流速に変化をもたらす詰 め石を魚道表面に配置した)。	未
60	H29	経営体育成基盤 整備事業	沼田 (美馬市)	ほ場整備(畦 畔)	希少植物 (ノニガナ)	⑤代償	・種子を採取し、工事完了後、地区 内のさまざまな環境に播種する。	⑤代償	・計画どおり(個体及び種子を採取 し、現地で播種及び移植のモニタリ ングを実施し、移植先の検討を行っ た)。 工事後適地に移植する予定。	・一部個体について は、生育していることを 確認した。
64	H30	老朽ため池等整備 事業	花園池 (三好市)	ため池堤体改 修	希少植物 (ココモヅル)	④軽減/消 失	・種子を採取し工事後播種すると ともに、個体を土壌とともに避難し、 工事後植戻しする。	④軽減/消 失	・ココモヅルの個体及び表土を仮置き した。工事完成後、現地へ移植予 定。	未

事業名	経営体育成基盤整備事業	地区名	長生西部	市町村	阿南市
事業所名	南部総合県民局<阿南>	課名	農村保全	採択年度	H12 (H24)

環境配慮の内容：⑤代償

工事期間中、希少植物（ウマスゲ、ミズタカモジ）に影響を受けない場所に一時的に仮移植し、移植地を整備した後、移植地へ移植する。

ほ場整備区域内に生息する希少植物（ウマスゲ、ミズタカモジ）を一時的に仮移植するため、生息位置の調査を専門家の協力のもと実施した。

生息位置確認後、個体を採取し、一時的に仮移植。移植先の土地を整備した後、本移植した。

(1)生息位置確認(H30.9.3)



(2)個体採取(ウマスゲ)(H30.9.11)



(2)個体採取(ミズタカモジ)(H30.9.15)



(3)移植先整備(H31.4)



(4)移植(H31.4.17)



(5)生育状況確認(R元.5.7)



事業名	老朽ため池等整備事業	地区名	源太池	市町村	阿波市
事業所名	東部農林水産局<吉野川>	課名	農村整備	採択年度	H26

環境配慮の内容：④軽減/消失

保護育生していた個体と播種育苗した個体によるコカモメヅルの再生

④軽減/消失

保護育生していたコカモメヅルの個体と播種育苗した個体により、工事後にコカモメヅルの再生を行った（R元. 6. 21）。

(1) 保護育生したコカモメヅル



(2) 播種育苗したコカモメヅル



(3) 現況植生の残る植え戻し箇所には穴を掘る。



(4) 保護育生、播種育苗した個体を移植



事業名	老朽ため池等整備事業	地区名	源太池	市町村	阿波市
事業所名	東部農林水産局<吉野川>	課名	農村整備	採択年度	H26

環境配慮の内容：④軽減/消失

現地に移植したコカモメヅルの維持管理とモニタリングの継続

④軽減/消失

移植したコカモメヅルの維持管理とモニタリングの継続を行った。

(1) 移植個体の状況



R元.6.26(1週間後)

(2) 開花状況



R元.7.31(1ヶ月後)

(3) 多くの果実を確認



R元.9.25(3ヶ月後)

(4) 種子の採取



R元.11.12(5ヶ月後)

※モニタリングは今後2年間（計3年間）行うこととする。

事業名	老朽ため池等整備事業(河川応急)	地区名	神野	市町村	海陽町
事業所名	農林水産部<美波>	課名	農村保全	採択年度	H28

環境配慮の内容：②最小化

右岸魚道の漏水箇所を修復し、新たに詰め石による魚道部の水深・流速に変化を設け、遊泳力の弱い魚種でも機能する形式とした。

②最小化

右岸魚道の漏水修復にあたり、遊泳力の弱い魚種でも遡上できるよう、魚道部の水深・流速に変化をもたせるため、詰め石を魚道表面に配置した。

魚道改修状況(R元.12.27)



事業名	経営体育成基盤整備事業	地区名	沼田	市町村	美馬市
事業所名	西部総合県民局<美馬>	課名	農村保全	採択年度	H29

環境配慮の内容：⑤代償

希少植物であるノニガナの種子を採取し、ほ場整備工事完成後、地区内のさまざまな環境で保全するため、種子を育成保存するとともに、現地で播種及び移植のモニタリングを実施し、移植先の検討を行った。

○現況調査

ノニガナの生育状況を把握するため、平成30年5月15日に現地調査を実施した。その結果、毎年同じ場所を確認されるということではなく、平成28年の事前調査で確認されなかった場所でも確認することができた。

<ノニガナの生育状況>



<ノニガナの生育環境>



○種子の採取

平成30年5月15日に種子の採取を行った。採取した種子は持ち帰り、種子以外のものをピンセットなどで取り除いた。

<種子の採取状況>



<熟した果実>



事業名	経営体育成基盤整備事業	地区名	沼田	市町村	美馬市
事業所名	西部総合県民局<美馬>	課名	農村保全	採択年度	H29

環境配慮の内容：⑤代償

希少植物であるノニガナの種子を採取し、ほ場整備工事完成後、地区内のさまざまな環境で保全するため、種子を育成保存するとともに、現地で播種及び移植のモニタリングを実施し、移植先の検討を行った。

<採取した種子>



<ゴミ等を取り除いた種子>



○育成保存

平成30年6月25日にプランターに市販の野菜栽培用の土を入れ播種するとともに、種子の一部をプラスチックケースに入れ冷蔵保存した。また、播種したプランターについては、月1回程度、発芽状況を観察した。平成30年9月21日に発芽が確認され、その後消失した個体も見られたが、大半は順調に生育した。

<平成30年6月25日播種>



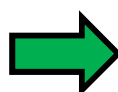
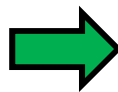
<平成30年9月21日発芽を確認>



<平成30年10月31日の状況>



<平成31年2月28日の状況>



事業名	経営体育成基盤整備事業	地区名	沼田	市町村	美馬市
事業所名	西部総合県民局<美馬>	課名	農村保全	採択年度	H29

環境配慮の内容：⑤代償

希少植物であるノニガナの種子を採取し、ほ場整備工事完成後、地区内のさまざまな環境で保全するため、種子を育成保存するとともに、現地で播種及び移植のモニタリングを実施し、移植先の検討を行った。

○播種及び移植作業

平成31年3月27日、令和3年度に工事が予定されている工区において、できる限り耕作の影響を受けず生育環境に適した播種及び移植候補地を選定し、地元関係者にご協力を頂き、下記の5つの条件にてモニタリングを開始し、令和元年7月下旬まで生育状況を観察した。

区画1：草刈りした後に播種	区画2：掘り返し草抜き後に播種
区画3：掘り返し草抜き後に苗の移植	区画4：草刈りした後に苗の移植
区画5：掘り返し草抜き後に現地の個体を移植	

<移植先の状況>



<播種及び個体の移植状況>



<平成31年4月22日の状況>



<区画5の状況>



やや生育不良であるが、果実をつけていた。

○モニタリングによる考察

- ・種から育てた個体は弱かったのか結実せず、子孫を残せなかった。
- ・現地から現地へ移植した野生の個体は結実し、周辺に種子が飛んだと考えられる。
- ・現地の個体を保全するには、工事の影響の少ない現地で育成保存させることが望ましい。

事業名	老朽ため池等整備事業	地区名	花園池	市町村	三好市
事業所名	西部総合県民局<三好>	課名	農村保全	採択年度	H30

環境配慮の内容：④軽減／消失
 配慮対象 コカモメヅル

工事開始前に個体を採取し、プランターに仮移植する。
 工事完成後、現地に再移植する予定。

コカモメヅル植生状況(R元.7.5)



プランターに仮移植状況



農業農村整備事業の環境配慮 計画・実績(R元年度まで)

参考資料

令和2年3月現在の状況

番号	採択年度	事業名	地区名(所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング結果等(予定)
1	H15	土地改良総合整備事業	昭和2期(阿波市)	農業用水のパイプライン化	水生動植物	④軽減/消失	・パイプライン化に伴い不要となる開水路を存置し、地元関係者の協力のもと用水を流す。	④軽減/消失	・地元関係者の協力により、開水路を残し、用水を流下させている。	・工事前と同様の環境を保全。
2	H15	土地改良総合整備事業	上喜来2期(阿波市)	農道(現道拡幅)	希少植物(カワチシヤ)	①回避 ⑤代償	・農道の路線変更もしくは移植する。	—	・対策なし(付近広範囲に生息を確認でき、専門家は対策不要との見解)	—
				農道測溝水路	水生動植物	②最小化	・水路側壁を環境配慮型のブロックとする。	②最小化	・計画どおり(緑草ブロックの設置)。	・植物の繁茂を確認。
3	H15	中山間地域総合整備事業	相生中央(那賀町)	水路	希少植物(ユキモチソウ)	②最小化 ④軽減/消失	・工事に際し痛めないよう作業員に注意喚起する等行う。	④軽減/消失	・生育箇所をロープで囲った。	・開花を確認(H19.4)。
				取水堰改修	甲殻類(ヤマヌマエビ)	②最小化	・遡上できる構造とする。	②最小化	・計画どおり(石張りスロープ構造)。	・堰の上下流で個体確認(H19夏・秋)。
				区画整理	魚類等(トシヨウ等)	①回避 ②最小化	・水田内のよけ(山際の土水路)を残す。	②最小化	・計画どおり(水田内のよけ(山際の土水路)を再設置)	・個体確認(H19夏・秋)。
				区画整理(畦畔)	農村環境・景観	②最小化	・適切な畦畔の管理、もしくは石積み再利用。	②最小化	・計画どおり(石積みの再利用)。	—
4	H15	農免農道事業	池田2期(池田町)	農道(横断暗渠)	魚類(ナカレホトケトシヨウ)	②最小化	・遡上できる構造とする。	—	・事業計画の見直しで地区外へ(池田地区で対応)。	—
				農道	魚類(ナカレホトケトシヨウ)	④軽減/消失	・工事区域に取り残された個体を上流へ移動させる。	—	・事業計画の見直しで地区外へ(池田地区で対応)。	—
				農道(側溝)	徘徊性動物(ヒキガエル等)	②最小化	・移動経路を確保するため、落下しないあるいは這い上がれる構造とする。	—	・事業計画の見直しで地区外へ(池田地区で対応)。	—
				農道	希少植物(ヤブサンザシ・カンアオイ)	①回避 ⑤代償	・路線変更もしくは移植する。	—	・対策なし(付近広範囲に生息を確認でき、専門家から配慮不要との見解)。	—

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
5	H15	農免農道事業	美馬中野 2期 (美馬市)	農道	希少植物 (ヤブサンザシ)	①回避 ⑤代償	・路線変更もしくは移植する。	×	・着手前に消失(イノシシの罾を仕掛けるとして除去された)。	—
6	H15	老朽ため池等整備 事業	水晶池 (鳴門市)	ため池堤体改修	在来植生	②最小化 ④軽減/消 失	・堤体上流側法面を自然型擬石ブ ロック張等により植生空間を創る。 ・堤体下流側法面に現況法面の表 土を張る。	②最小化	・計画どおり(自然型擬石ブロッ ク張)。	・在来植生を確認(平 成19年夏・秋)
				ため池堤体改修	希少植物 (オオハリイ、キクモ)	②最小化 ④軽減/消 失 ⑤代償	・堤体上流端を緩傾斜土羽護岸と する。 ・工事期間中、たまり水部を創設し 一時移動する。	②最小化	・計画どおり(堤体上流側端部を緩 傾斜の土羽としたするとともに、工 事期間中は浅瀬の水たまりを創設)。	・在来植生を確認(H19 夏・秋)
				ため池堤体改修	貝類 (モアアカイ)	②最小化 ④軽減/消 失	・工事における改変を極力抑え、重 機から油類を流出、飛散させない。	④軽減/消失	・計画どおり(工事期間中浅瀬の水 たまりを創設)。	—
7	H15	老朽ため池等整備 事業	池谷池 (阿波市)	ため池堤体改修	在来植生	②最小化	・堤体上流側法面を自然型擬石ブ ロック張とする。	②最小化	・計画どおり(堤体上流側法面に自 然型擬石ブロック張を実施)。	・在来植生を確認 (H18.8)
8	H15	河川応急対策事 業	長岸寺西 (松茂町)	水門改修 (取合水路含 む)	在来水生植物 (ヒシ、ハス等)	⑤代償	・コンクリート水路の側壁部及び底板部 に植生ヤシマツを設置する。	⑤代償	・計画どおり(コンクリート水路の側壁部 及び底板部に植生ヤシマツを設 置)。	未
				水門改修 (取合水路含 む)	在来植生	④軽減/消 失	・堤体法面部盛土に現況の植生土 壤を使用する。	④軽減/消失	・計画どおり(堤体法面部の盛土に 現況の植生土壌を使用)。	未
9	H15	地盤沈下対策事 業	藍住2期 (藍住町)	農業用水のハ イライン化	希少植物 (コイカガシ)	⑤代償	・個体を移植する。	⑤代償	・計画どおり(施工箇所のコイカガシ を15株移植)。	・枯死を確認(H17年夏 の大干ばつ)。 【分析】 ・移植先での水不足。 今後の移植について 注意。
10	H16	経営体育成基盤 整備事業	平島上 (那賀川町)	ほ場整備 (畦畔)	希少植物 (フジハカマ・ミス`マツ ハ・スス`メハコベ)	③修正 ④軽減/消 失 ⑤代償	・在来種の繁茂する畦畔、水田の 表土を、それぞれ保管し、工事後に 戻す。 ・土壌ごと個体を仮移植し工事後に 戻す。	①回避 ④軽減/消失	・排水路の路線を変更し、フジハカマ の生息地を回避。 ・計画どおり(畦畔土壌を保管し、畦 畔に再利用)。	・全ての重要種ほか事 前調査で確認された多 くの種を確認(H20春、 秋) 水田含め、従前の土 壌の再利用が有効。

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
				ほ場整備 (水路)	水生動植物 (マガトシヨウ)	③修正 ④軽減/消 失	・水路側面に凹部を設け流速緩和、 底張りしない、ポンプ場に止水域の 創造など、生育空間を創設する。 ・工事濁水の流入を防止する。	③修正	・計画どおり(ポンプ場内に、遊水池 を設け、トンボ等の水生動植物の生 息空間を設置)。	未
				ほ場整備 (水路)	両生類 (トノサマガエル)	②最小化 ④軽減/消 失	・両生類(トノサマガエル)の生態系に配 慮する。	②最小化	・水路側壁に水路から水田への移 動可能なスロープを設置。	未
11	H16	広域農道事業	徳島東部 3期 (徳島市他)	農道	希少植物 (ギンラン・イスハハ コ)	①回避 ⑤代償	・路線変更もしくは移植する。	⑤代償 —	・計画どおり(計画路線の変更は困 難なため、ギンランを移植)。 ・対策なし(付近に多数の個体の生 育を確認したため、イスハハコに対す る対策は不要)。	・移植先周辺でギンラン を確認出来なかった。 【分析】 ・鳥獣被害等により、 育環境に変化があっ た。
				農道(側溝)	小動物 (カエル・ヘビ)	②最小化	・転落した際に這い上げられる構造と する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				農道	希少植物 (タシロン)	①回避 ⑤代償	・路線変更もしくは移植する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				農道(横断暗 渠)	魚類 (カワソノホリ等)	②最小化	・円形コルゲートパイプ等、上下流で 移動可能な構造を検討する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
12	H16	農免農道事業	忌部5期 (吉野川市)	農道	希少植物 (セトウチホトキス・ミ ヤコアオイ)	①回避 ⑤代償	・路線変更もしくは移植する。	①回避	・計画どおり(路線計画を見直し回 避した)。	—
				農道	希少植物 (サケバセリ)	①回避 ⑤代償	・路線変更もしくは移植する。	—	・対策なし(再調査の結果、希少種 でないセリと確認)。	—
				農道(側溝)	地上徘徊性動物 (ヒバカリ)	②最小化	・転落した際に這い上げられる構造と する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
13	H16	国営附帯県営農 地防災事業	六条 (上板町・ 板野町)	農業用水のハ イライン化	水生動植物等	④軽減/消 失	・ハイライン化に伴い開水路への通 水が不要となるが、放水管を設 置し、地元関係者の協力のもと用水を 流す。	④軽減/消 失	・計画どおり(地元関係者の協力に より、現況開水路に用水を流下させ る放水管を設置)。	—
				農業用水のハ イライン化	希少植物 (コイヌガシ)	①回避 ⑤代償	・個体を移植する。	①回避	・隣接する道路下へパイプを配管す る経路変更により、生育するほ場畦 畔部の掘削を回避。	・畦畔部の個体は耕作 に支障があると除去さ れた。 【分析】 農家の理解を得られる よう啓発が必要。
14	H16	老朽ため池等整備 事業	神明池 (阿波市)	ため池堤体改 修	水生生物 (トウヨシノボリ、モ スガニ・トンボの幼 虫等)	②最小化 ④軽減/消 失	・生息環境保全のため、多自然型 護岸とする。	②最小化	・計画どおり(堤体上流側法面に自 然型擬石ブロック張(間詰めは現場発 生土)とした)。	・植生が繁茂してきて おり、生育環境を保全 できている。
				ため池堤体改 修	植物 (ナンテンハギ)	②最小化 ④軽減/消 失	・個体を移植する。	—	・工事区域内に確認されなかったた め移植していない(工事区域外に植 生を確認)。	—
				ため池堤体改 修	水生生物	⑤代償	・ため池の落水で干上がるため、水 生生物を避難する。	⑤代償	・計画どおり(落水時にモスガニを採 取し、ため池下流の水路へ放流)。	未
15	H16	老朽ため池等整備 事業	檀池 (吉野川市)	ため池堤体改 修	水生生物 (メダカ、エビ、トンボ 等)	②最小化 ④軽減/消 失	・生息環境保全のため、堤体護岸を 一部自然石張とする。	②最小化	・堤体上流側法面を自然型擬石ブ ロック張で施工(間詰めは現地発生 土)。	・植生の回復が確認さ れた。
				ため池堤体改 修	希少植物 (コカモヅル)	②最小化 ④軽減/消 失	・個体を避難し、工事後に元に戻 す。	④軽減/消 失	・計画どおり(一時避難し、工事完 了後、現況生育付近に移植)。	・H19.6に移植した個体 の消滅を確認したた め、再移植した (H21.11)
				ため池堤体改 修	水生生物	⑤代償	・ため池の落水で干上がるため、水 生生物を避難する。	⑤代償	・落水時にため池の一部に水たまり を残した。 ・計画どおり(落水時にメダカを採 取し、上流水路へ放流)。	未

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
16	H16	中山間地域総合整備事業	牟岐 (牟岐町)	取水堰改修	魚類 (ヤマヌマエビ)	②最小化	・遡上できる構造を検討する。	②最小化	・計画どおり(石張りのスロープ魚道を設けた)。	・堰上流部で個体を確認(H20調査)
				区画整理	希少植物 (ミスワラビ、スズメハコベ、ウスゲチヨウジタテ)	②最小化 ④軽減/消失	・生育する表土を仮置き、ほ場整備後にその表土を戻す。	④軽減/消失	・計画どおり(表土を仮置きし、戻した)。	・ミスワラビ、スズメハコベを確認したが、ウスゲチヨウジタテは確認されなかった(H20調査)。
				水路	カニ・カエル・ヘビ等	②最小化	・生息環境の保全を検討する。	②最小化	・石積み及びフトン籠等による護岸とし生息地を創造するとともに、脱出用スロープを設置した。	・ベンケイガニ、トノサマガエル等確認(H20調査)。
				水路	徘徊生小動物 (カエル・ヘビ・イモリ等)	②最小化	・転落した際に這い上がれる構造とする。	②最小化	・計画どおり(排水路壁に階段スロープを設置)。	・水路内で小動物の死骸等は見られない(H20調査)。
17	H16	中山間地域総合整備事業	池田南部 (池田町)	道路(側溝)	徘徊性動物 (アカガエル)	②最小化	・転落した際に這い上がれる構造とする。	②最小化	・計画どおり(道路側溝はアカガエル等が這い上がれる構造とした)。	未
18	H17	経営体育成基盤整備事業	今津南部 (阿南市)	ほ場整備(水路)	希少植物 (アゼオトギリ)	①回避	・群落のある土水路をそのまま残し、従来の水環境を維持する。	①回避	・計画どおり(群落のある土水路を存置した)。	・専門家により個体数の増加を確認(H26)。
				ほ場整備(水路)	希少植物 (アゼオトギリ)	⑤代償	・移植する。	⑤代償	・計画どおり(確認された個体を類似環境へ仮移植。遊水池の付近に再移植を行う予定)。	未
				ほ場整備(畦畔)	希少植物 (ミスヅカモシ)	⑤代償	・移植する。	⑤代償	・生育箇所の畦土を剥ぎ取り、他の土と区別し一時保管。工事後の水路沿いの畦に戻した。	未
				ほ場整備(畦畔)	希少植物 (ミスマツバ、スズメハコベ)	⑤代償	・移植する。	⑤代償	・生育箇所の畦土を剥ぎ取り、他の土と区別し一時保管。工事後の畦に戻した。	未
				ほ場整備(水路)	希少植物 (フジハカマ、コウホネ)	⑤代償	・移植する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
				ほ場整備(水路)	希少植物 (ミスオオハコ、サンショウモ、ホスモ)	⑤代償	・移植する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(水路)	水生生物 (メダカ、ドジョウ等)	②最小化 ③修正 ④軽減/消失	・排水路の側壁や底部に凸凹部区間を設ける。	②最小化 ③修正 ④軽減/消失	・計画どおり(排水路の側壁に魚巣ブロックを設置)。	未
				ほ場整備(水路)	水生生物 (メダカ、ドジョウ等)	③修正	・水田と排水路を結ぶ魚道を設置する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(水路)	小動物 (ノサマガエル、両生類、は虫類)	②最小化 ④軽減/消失	・転落した際に這い上がる構造とする。	②最小化	・計画どおり(水路側壁に水路から水田への移動可能な現場発生小石の突起として利用したスロープを設置)。	未
19	H17	国営附帯県営農地防災事業	大津東部東 (鳴門市)	用水のハイフライン化	希少植物 (ハマホウ)	①回避 ⑤代償	・路線計画の変更による回避又は移植等する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
20	H17	老朽ため池等整備事業	寺谷池 (吉野川市)	ため池堤体改修	水生生物 (メダカ、タモロコ、イシガメ等)	②最小化 ④軽減/消失	・堤体護岸の一部を自然石張護岸とする。	②最小化	・計画どおり(堤体上流側法面に自然型擬石ブロックを設置)。	・5種の魚類、5種の貝類・甲殻類を確認。
				ため池堤体改修	水生生物	②最小化 ④軽減/消失	・ため池の落水に伴う、工事期間中の水生生物への生息場所を確保する。	④軽減/消失	・計画どおり(工事期間中、浅瀬の水たまりを創設)。	—
21	H17	農免農道事業	板野中部 2期 (板野町)	道路	希少植物 (コイヌガラシ)	④軽減/消失 ⑤代償	・生育環境に配慮を検討する。	⑤代償	・工事により、喪失する田、畦の表土を取り置きしておき、工事後付近の同様の場所にもどした。	未
				道路	魚類 (メダカ、ドジョウ等)	③修正 ④軽減/消失	・生息環境の創設及び、工事期間中の濁水に留意する。	④軽減/消失	・作業機械の点検整備により、重機からの油類の流出・飛散の防止に努めた。	—
22	H17	中山間地域総合整備事業	脇中央 (美馬市)		希少植物 (ソクシラン、ウゲイスカガラ、クチナシガサ)	②最小化 ④軽減/消失	・配慮を検討する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
				道路(側溝)	徘徊性動物 (カエル、ヘビ)	②最小化	・落下した際に、這い上げられる構造とする。	①回避	・道路側溝を設けないこととした。	—
23	H17	中山間地域総合 整備事業	三好 (三好市)	堰	魚類	②最小化	・取水堰の計画にあたっては、魚類が遡上できる構造とする。	①回避	・取水堰の計画を中止した。	—
23				排水路	希少種 (ヤマイバラ)	①回避 ⑤代償	・個体が確認された排水路の路線変更する。	①回避	・計画どおり(排水路の路線を一部変更)。	・排水路脇で、良好に生育している。
23				排水路	希少植物 (ユキモチソウ)	①回避	・生息場所に影響がないよう、増川排水路改修工事を行う。	①回避	・計画どおり(生育区域を囲い、立ち入り禁止とした)。	—
23				ため池堤体改修	魚類 (トウヨシノボリ)	①回避 ③修正 ④軽減/消失	・個体の保全を検討する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
24	H18	経営体育成基盤 整備事業	古養水・東北 (阿波市)	農業用水のハ イライン化	希少水生動物 (メダカ、ヒメマルタニシ、コオイムシ)	②最小化 ③修正	・調整水槽近傍にビオトープを創出する。	②最小化	・新たなビオトープの創設は困難なため、地区内にあるため池の水が枯れないように、水の放水管を設置し、希少水生動物(メダカ、ヒメマルタニシ、コオイムシ)の生息環境を保全する。	未
				農業用水のハ イライン化	希少植物 (カワチシャ)	②最小化 ④軽減/消失	・ハイライン化に伴い開水路への通水が不要となるが、放水管を設置し、地元関係者の協力のもと用水を流す。	—	・対策なし(ため池からの排水が常時流入することから、生育環境の大きな変化はなかった)。	—
				農業用水のハ イライン化	希少植物 (センダイスケ、コカモヅル)	④軽減/消失	・一時避難及び生育土壌を工事後に戻す。	①回避	・配管ルートの変更により、生育箇所の掘削を回避。	—
25	H18	経営体育成基盤 整備事業	御所 (阿波市)	用水のハイラ イン化	希少植物 (カワチシャ)	②最小化	・ハイライン化に伴い開水路への通水が不要となるが、放水管を設置し、地元関係者の協力のもと用水を流す。	④軽減/消失	・地元関係者の協力により、現況開水路に用水を流下させている。	未
				用水のハイラ イン化(水槽)	水生動物 (ギンブナ、カワムツ、ドンコ、カヨシ)	②最小化 ③修正	・調整水槽近傍にビオトープを創出する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
				用水のパイプライン化	希少植物 (ナンテンハギ、ヒメソハギ、コキシギシ)	④軽減/消失	・個体を仮移植及び生育土壌を工事後に戻す。	①回避	・生息箇所は農地の畦畔部であり、道路区域内でのパイプライン工事の方法等を検討した結果、生育区域への影響が無いように工事を施工した。	—
26	H18	国営附帯県営農地防災事業	大山 (上板町・板野町)	用水のパイプライン化	希少植物 (ヒメソハギ)	②最小化 ④軽減/消失 ⑤代償	・個体を仮移植し工事後戻す。	①回避	・仮設道路計画路線を変更することで希少植物の生息地を回避。	—
				用水のパイプライン化	水生動物	④軽減/消失	・パイプライン化に伴い、生育する水路への用水は不要となるが、既存水路に水を流すことを、地元関係者に協力を求める。	④軽減/消失	・地元関係者の協力により、現況開水路に用水を流下させている。	—
27	H18	老朽ため池等整備事業	奥の池 (美馬市)	ため池堤体改修	希少植物 (ミノオシ)	④軽減/消失	・工事前に種を採取し、工後に付近に播く。	①回避	・仮設道路計画路線を変更することで、希少植物の生育地を回避。	—
				ため池堤体改修	希少生物 (モノアラガイ)	⑤代償	・個体を保護し、工後に上のため池に戻す。	—	・池の水を抜く際に個体が発見できず、採取できなかった。	—
				ため池堤体改修	希少植物 (ソクシラン)	⑤代償	・個体を移植する。	①回避	・生育箇所を工事範囲外とし、回避した。	—
				ため池堤体改修	希少植物 (イトモ)	②最小化	・工事による個体への影響を少なくするため、冬期に工事を行う。	⑤代償	・イトモ生育箇所の土を仮置(工事完成後に戻す予定)。	工事を実施中
28	H18	農免農道事業	勝浦南部上3期 (勝浦町)	農道(側溝、横断暗渠)	小動物・は虫類等	④軽減/消失	・転落した際に這い上げられる構造とする。	④軽減/消失	・盛り土法面下部の水路に、小動物が這い上げられる構造を施工した。	—
29	H18	河川応急対策事業	有天第2 (徳島市)	樋門改修	水生動植物	④軽減/消失	・堤体の改変を極力控え、工事中は低公害型の機種とし、重機からの油類の流出、飛散を最小限にとどめる。	④軽減/消失	・計画どおり(作業機械を低公害型の機種に、油類流出、飛散の防止に努めた。さらに、シルトフェンスにより濁水の流出を極力抑えた)。	—

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
30	H18	中山間地域総合整備事業	那賀川西部 (阿南市)	道路(接する水田)	希少植物 (ミス`マツバ)	④軽減/消失	・個体が生育する水田土壌を再利用する。	④軽減/消失	・計画どおり(種子を含む水田土壌の仮置き、再利用した)。	・個体確認(H30調査)。
31	H19	経営体育成基盤整備事業 (排水対策型)	竹須賀 (徳島市)	水路	希少水生動物 (モロコ、ヤリタナゴ、モクスガニ)	②最小化 ③修正 ④軽減/消失	・水路構造の検討及び在来水生植物の生育区間を確保する。	②最小化 ④軽減/消失	・計画どおり(底版中央部はコンクリートを張らない土砂溜まり部分を創設)。	・魚類6種(ヤリタナゴ、コウライモロコ等)を確認(H24調査)。
32	H19	老朽ため池等整備事業	藤谷池 (阿南市)	ため池堤体改修	希少植物 (スズサイコ)	④軽減/消失	・一時避難し、工事後に戻す。	④軽減/消失	・計画どおり(一時避難し、工事後戻した)。	・個体確認(H26調査)。
				ため池堤体改修	水生生物 (トブガイ)	②最小化 ④軽減/消失 ⑤代償	・工事に伴う落水に際して、溜水内に移動させる。	④軽減/消失	・計画どおり(工事期間中、浅瀬の水たまりを創設)。	未
33	H19	老朽ため池等整備事業	一の坪 (吉野川市)	ため池堤体改修	希少植物 (ホッスモ)	②最小化	・冬期に工事を行う。また、湿潤の環境を保全する。	②最小化	・計画どおり(冬期に工事を行うとともに、生育環境を改変しないため、施工ヤード以外は立ち入らない)。	未
				ため池堤体改修	希少植物 (コカモヅル)	④軽減/消失	・個体を一時避難し、工事後に戻す。 ・種子を採取し、工事後、現地に播種する。	④軽減/消失	・計画どおり(専門家の指導の下、種子を採取し栽培すると共に、工事の影響のない類似環境に一時移植し、生育を確認)。	・4箇所で開催を確認したものの(H22)、その後生息を確認できていない。 ブランターに避難している個体を移植予定。
34	H19	湛水防除事業	上八万 (徳島市)	排水機場	水生動植物	④軽減/消失	・工事中の濁水の発生を極力抑える。	④軽減/消失	・計画どおり(工事中の排水について沈砂水槽を設置)。	—
35	H19	経営体育成基盤整備事業	段関 (鳴門市)		希少植物 (コキンギン・オオアブノメ等)	④軽減/消失	・生育土壌を工事後に戻す。	④軽減/消失	・計画どおり(生育土壌を工事後の盛土や環境型ブロックの覆土に使用)。	未

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮5原則		環境配慮5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
						環境配慮5原則	主な環境配慮の計画			
				水路	希少魚類 (カワハタモロコ等)	②最小化	・生息空間を確保するため、水路側壁部を魚巣ブロックやカゴ枠等とする。	②最小化 他	・計画どおり(魚巣ブロック等設置するとともに、専門家の助言のもと、水路片岸を傾斜したブロック護岸とした)。 ・耕作者の理解を得て、レンコン田と排水路の往来が可能な魚道を設置。 ・水産研究所や一般企業、学校教育とも連携し、個体を避難させ増殖中。 ・増殖したカワハタモロコを地区上流のため池(H26)と水路(H29)に放流。また、自然環境に近いピオップ池で育った親魚により耐性に強い種苗	・放流したため池や水路での個体は未確認
				水路	希少種 (オニバス)	④軽減/消失	・種子を採取し、水路工事完了後、環境配慮型の水路(縁田型水路)に、播種する。	④軽減/消失	・計画どおり(種子を採取し、縁田型水路に播種)。	・個体を確認。
36	H19	中山間地域総合整備事業	三野西部 (三好市)		希少植物 (ミヤコアオイ・アケボノシユラン)	⑤代償	・個体を代替地に移植する。	⑤代償	・計画どおり(工事に影響のある個体を代替地に移植)。	・移植先において生育していることを確認した。
37	H20	河川応急対策事業	大井堰 (海陽町)	堰改修(魚道)	回遊性魚類 (カマキリ)	②最小化 ③修正 ④軽減/消失	・魚道の改修において、生物的連続性の確保できる構造とする。	②最小化 ③修正 ④軽減/消失	・計画どおり(左右岸部は植え石魚道として、筏落とし部は魚道として整備)。	・アユ遡上を確認(H25春、H26春)。 ・エビ遡上を確認(H26.9)。
38	H20	河川応急対策事業	長田堰 (徳島市)	堰改修	希少植物※湿性植物 (タコアシ・ウマスゲ)	②最小化	・水路内の湿地環境を保つ。 ・河道内のタコアシ生育場所を確認し、工事の影響がないようにする。	②最小化	・計画どおり(水路通水を確保することにより湿地環境を保全し、工事影響範囲にタコアシの生育がないことを確認)。	未
				堰改修	水生動物	④軽減/消失	・工事中の土砂や濁水、重機からの油の流出を抑える。	④軽減/消失	・計画どおり(シルトフェンスの設置し、汚濁水の流出を防止)。	—
39	H20	国営附帯県営農地防災事業	唐園 (上板町・板野町)	用水のハイフライン化	希少植物 (サデカサ)	④軽減/消失	・直接的な影響は無いが、生育環境は保全する。	④軽減/消失	・計画どおり(現地発生土で埋戻)。	未

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
				用水のパイプライン化	希少植物 (クモ)	②最小化	・生育地付近の工事は、出来る限り冬期に実施。 ・生育している水路にかんがい期に水を流すことを、地元関係者に協力を求める。	②最小化	・計画どおり(登記の工事を実施し、地元関係者の協力により、かんがい期は現況開水路に用水を流下)。	未
40	H20	基幹農道事業	池田3期 (三好市)	道路	希少植物 (ヤブサンザシ・カンアオイ)	④軽減/消失	・農道計画路線付近に生育している個体の上に土砂が流れ落ちないように対策をする。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				道路	希少植物 (エビネ・ミヤコアオイ)	①回避	・農道計画路線付近に生育している個体に影響が無いように施工をする。	①回避	・計画どおり(工事作業員に踏みつけや不必要な伐採はしないよう指示した)。	—
				道路(溪流横断部)	魚類 (ナガレホトケトジョウ等)	③修正	・溪流横断部については、ナガレホトケトジョウ等が遡上できる構造とする。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
41	H21	経営体育成基盤整備事業	大幸 (鳴門市)	道路	希少植物 (サテウサ・コギンギシ)	④軽減/消失	・生育土壌を工事後に戻す。	④軽減/消失	・計画どおり(生育土壌を盛土や、環境型ブロックの覆土に使用)。	・コギンギシは個体確認 ・サテウサは個体未確認 【分析】 サテウサは主に水路沿いのオギやヨシの縁に生育するが、工後はそのような環境がなくなり新たに侵入できない。
					希少魚類(トジョウ・カワハタモロコ等)	②最小化	・生息空間を確保するため、水路側壁部を魚巣ブロックやカゴ枠等とする。	②最小化	・計画どおり(魚巣ブロック等設置するとともに、専門家の助言のもと、水路片岸を傾斜したブロック護岸とした)。	カワハタモロコを確認できていない(2018年5月に1500尾を放流)。
42	H21	農道整備事業	大麻西2期 (鳴門市)	農道(横断水路)	水生動物	②最小化	地区内水路網の連続性を確保する。	②最小化	計画どおり(横断暗渠等により水路の連続性を確保)。	—
				農道	希少植物 (ヒメダテ・アゼスゲ・タノアシ)	④軽減/消失 ⑤代償	ヒメダテは生息地の土壌、アゼスゲは個体を、タノアシは個体と生息地の土壌を工事に影響のないところへ移動しておき工事後戻す、もしくは代替の生育場所へ移植する。	④軽減	計画どおり(表土を仮置きし工事後戻した)。	未

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮5原則		環境配慮5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
						環境配慮5原則	主な環境配慮の計画			
43	H22	経営体育成基盤整備事業	坂野2期 (小松島市)	ほ場整備	希少植物 (ヒメミキ・クロモ) 希少水生動物 (ヤリタナゴ・ヌマムツ等)	②最小化	・生育環境保全のため、水路内に土砂が堆積する構造とする。 ・水路底のコンクリート張りとし、水路側面の多孔質化、ワンド上の溜まりの設置等の水路構造とする。	②最小化	・計画どおり(水路断面の側壁上部を無ライニング(土羽)とすることで、土砂堆積が可能な環境を創出し、希少植物や水生動物の成育環境を保全した)。	未
				ほ場整備	希少植物 (ミスワラビ・クロモ等)	④軽減/消失	・水田土壌を再利用するとともに工事を冬季に実施し影響を軽減する。	④軽減/消失	・計画どおり(水田土壌を再利用するとともに、工事を冬季に実施することにより影響を軽減した)。	未
				ほ場整備	希少植物 (ミス'タモジ'・アゼ'スゲ'等)	⑤代償	・個体を移植する。	④軽減/消失 ⑤代償	・計画どおり(ミス'タモジ'を代替の生育場所へ移植するとともに、種子を採取し、工事の完了した畦畔に播種)。 ・計画どおり(アゼ'スゲ'を一時避難し、工事完了後に生育適地へ移植)。 ・地元農家に対し希少植物の生息地及び今後の維持管理について説	・移植箇所において、良好に生育していることを確認。
44	H22	老朽ため池等整備事業	敷地池 (吉野川市)	ため池堤体改修	水生動物	②最小化	・堤体内側の一部を水際植物が生育し魚介類が生息できるよう多孔質の張りブロック等とする。	②最小化	・計画どおり(堤体上流側法面にブロックマットを設置)。	・植物繁茂を確認。
				ため池堤体改修	希少植物 (ミゾコウジュ・スズメノコヒエ等)	④軽減/消失 ⑤代償	・個体を工事期間中避難させ、工事後元の場所へ戻す。もしくは類似環境へ移植する。	④軽減/消失 ①回避	・計画どおり(工事期間中、影響を受けない場所に回避させており、工事完了後に元の生育場所に戻す予定)。 ・生育区域への影響が無いように工事を施工した。	・回避箇所において、良好に生育していることを確認。
45	H23	老朽ため池等整備事業	新池 (三好市)	ため池堤体改修	水生動物	②最小化	・堤体内側を多孔質の張りブロックとする。	②最小化	・計画どおり(堤体内側にブロックマットを設置)。	・過年度に実施した箇所については、植物が繁茂してきている。
				ため池堤体改修	水生動物	④軽減/消失	・落水の際は徐々に排水し、溜水域を確保する。	④軽減/消失	・同一水系のため池に避難放流した。	—
46	H23	経営体育成基盤整備事業	長生西部大原工区 (阿南市)	ほ場整備(排水路)	水生動物	①回避	・下流水系との連続性を確保するため、大津田川と三日月湖を結ぶ水路を存置する。	①回避	・計画どおり(大津田川と三日月湖を結ぶ水路を現況のままとした)。	未

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮5原則		環境配慮5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
						環境配慮5原則	主な環境配慮の計画			
				ほ場整備(排水路)	水生動物	②最小化	・生息空間復元のため、幹線排水路の構造を、多孔質(石張、魚巣箱)とする。	②最小化	・計画どおり(排水路底版部を現地発生石を利用した多孔質(石張)とし、側壁部には魚巣ブロックを設置)。	未
				ほ場整備(排水路)	水生植物 (オゲラコウホネ、アイノヒルムシロ)	②最小化	・生育環境復元のため、幹線排水路底版部の構造を、多孔質(石張)とする。	②最小化	・計画どおり(排水路底版部を現地発生石を利用した多孔質(石張)とし、個体を水路完成後に移植)。	・専門家によりオゲラコウホネの良好な生育を確認(H30.3.19)。
				ほ場整備(排水路)	水生動物	③修正	・大津田川と排水路の連続性を保つため、接続部に段差を付けない。	③修正	・計画どおり(大津田川と排水路の接続部にスロープを設置)。	—
				ほ場整備(排水路)	水生動物	③修正	・簡易型水田魚道を取り付ける。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備	全般	④軽減/消失	・工事の際、濁水の流出、重機からの油類の流出・飛散に注意する。	④軽減/消失	・計画どおり(沈砂地の設置による濁水流出防止及び、工事中の作業機械の点検整備により油類の流出飛散防止に努めた)。	—
				ほ場整備(畦畔)	希少植物 (ミスヅカモジ、アゼスゲ)	⑤代償	・種子と生育土壌を採取、保存しておき、整備後の田畦に移植する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(畦畔)	希少植物 (ノニガナ)	⑤代償	・種子と生育土壌を採取、保存しておき、大谷工区の類似環境へ移植する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(畦畔)	希少植物 (フサスゲ)	⑤代償	・種子と生育土壌を採取、保存しておき、三日月湖の類似環境へ移植する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
46	H24	経営体育成基盤整備事業	長生西部大谷工区(阿南市)	ほ場整備(畦畔)	在来植生	①回避	・現況の生育環境を残し、営農の中で生育地周辺の維持管理(草刈り)を継続していく。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(排水路)	水生動物	②最小化	・生息空間復元のため、幹線排水路の構造を、多孔質(石張、魚巣箱)とする。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
				ほ場整備(排水路)	水生植物 (オグラコウホネ)	②最小化	・生育環境復元のため、排水路底版部の構造を、多孔質(石張)とする。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(排水路)	水生動物	③修正	・大津田川と排水路の連続性を保つため、接続部に段差を付けない。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(排水路)	水生動物	③修正	・簡易型水田魚道を取り付ける。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備	全般	④軽減/消失	・工事の際、濁水の流出、重機からの油類の流出・飛散に注意する。	④軽減/消失	・計画どおり(沈砂地の設置による濁水流出防止及び、工事中の作業機械の点検整備により油類の流出飛散防止に努めた)。	—
				ほ場整備(水田表土)	希少植物 (ミスワラビ、ミスマツバ)	④軽減/消失	・生育環境の復元のため、水田表土の再利用を行う。	④軽減/消失	・計画どおり(希少植物の種子を含む表土を剥ぎ取って保管し、整備後の水田の表土として再利用)。	未
				ほ場整備	希少植物 (アオヒメタケ、ミスタカモジ、アセズケ)	⑤代償	・生育地の土壌をブロック移植するとともに、種子を採取し移植先周辺に播種する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備	希少植物 (ウマスゲ、ミスアカモジ)	⑤代償	・個体を類似地へ移植する。	⑤代償	・計画どおり(生息位置の確認後、移植する個体を採取し、一時的に仮移植。移植先の代償池を整備した後、本移植)。	未
47	H24	老朽ため池等整備事業	坊僧池 (美馬市)	ため池堤体改修	魚介類	②最小化	・生息場所としての水際植物が生育できる環境配慮型護岸(多孔質の張りブロック等)を堤体内側法面の一部に使用する。	未	工事実施中	未
				ため池堤体改修	在来植生	②最小化	・外来種の侵入抑制のため、堤体外側の法面保護として、シバ等の在来種による緑化を行う。	未	工事実施中	未

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
				ため池堤体改修	水生動物	④軽減/消失	・ため池の水を抜く際、徐々に水を排出し、ため池内部に溜水域を確保し、在来の水生動物が避難できるようにする。	④軽減/消失	・計画どおり(地元水利組合と連携し、水を徐々に排水することに努めた)。	—
				ため池堤体改修	全般	④軽減/消失	・工事の際、濁水の流出、重機からの油類の流出・飛散に注意する。	④軽減/消失	・計画どおり(工事の際、濁水の流出、重機からの油類の流出・飛散防止に努めた)。	—
				ため池堤体改修	在来植物	④軽減/消失	・工事後の植生の復元が速やかに行われるよう、工事による改変・影響を極力少なくする。	④軽減/消失	・例年行う落水期間に合わせて工事を実施した(近傍に鶏舎があることから、取水期以外は池の水を落水)。	—
48	H25	老朽ため池等整備事業	相名池 (阿南市)	ため池堤体改修		②最小化	・堤体内側の張りブロックについて、多孔質のコンクリート製品を堤体の一部に使用する。	②最小化	・堤体上流側法面にブロックマットを実施し、植生空間を創る工事を実施。	未
				ため池堤体改修	在来水生動物	④軽減/消失	・個体が避難できるようにするため、ため池の水を抜く際、徐々に水を排出し、ため池内部に溜水域を確保する。	④軽減/消失	・徐々に水を排出した。	—
				ため池堤体改修	希少植物 (ミス'マツハ)	④軽減/消失	・工事により影響のある水田の表土(ミス'マツハの埋土種子を含む)に影響の無いところに仮置きし、工事後に戻す。	④軽減/消失	・表土の仮置を行った。堤体工事後に元の場所に戻す。	未
				ため池堤体改修	全般 ×外来種魚類 (オクチバス)	④軽減/消失	・工事に関わる作業ヤードは必要最小限度とする。 ・干上げの際、オクチバス(特定外来種)を駆逐する。	④軽減/消失	・工事に関わる作業ヤードは必要最小限度の範囲とした。 ・オクチバスは池内に生息していなかった。	—
49	H26	国営附帯県営農地防災事業	大幸西 (鳴門市)	用水のハイプライン化		②最小化	・水量が減少すると考えられる既存水路に、計画の排泥工より適量の水を流し、水生動物への生息環境を保全する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮5原則		環境配慮5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
						環境配慮5原則	主な環境配慮の計画			
				用水のパイプライン化		③軽減/消失	・工事の影響を受けるサデクサ、ミズアオイは生息地の土壌を、コキシギは個体を、工事の影響のないところへ移動し、工事後に戻す、または近隣の類似環境の場所へ移植する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
50	H26	老朽ため池等整備事業	源太池 (阿波市)	ため池堤体改修	在来植生	②最小化	・堤体内側の張りブロックについて、多孔質のコンクリート製品を堤体の一部に使用する。	②最小化	・堤体上流側法面にブロックマットを実施し、植生空間を創る工事を実施。	・植生が繁茂してきており、生育環境を保全できている。
				ため池堤体改修	水生動物	④軽減/消失	・ため池の水を抜く際、徐々に水を排出し、ため池内部に溜水域を確保し、在来の水生動物が避難できるようにする。	④軽減/消失	・地元関係者と調整し、ため池の水を徐々に排出している。	
				ため池堤体改修	希少植物 (コカモヅル)	④軽減/消失	・個体及び埋土種子を含む表土を、影響の無いところに仮置きし、工事後に戻す。また、事前に種子を採取し、工事後に播く。	④軽減/消失	・保護育成していた個体を現地に移植した。	・個体の生育を確認(R3までモニタリングを継続する)。
				ため池堤体改修	在来植生	④軽減/消失	・工事により影響のある水田の表土を影響の無いところに仮置きし、工事後に戻す。	④軽減/消失	・水田の表土は、工事に影響のないところへ仮置きし、工事後に戻す予定。	
				ため池堤体改修	全般 ×外来種魚類 (オクチバス)	④軽減/消失	・工事に関わる作業ヤードは必要最小限度とする。 ・干上げの際、オクチバス(特定外来種)を駆逐する。	④軽減/消失	・工事に関わる作業ヤードは、必要最小限度としている。 ・工事に先立つ干上げの際に、駆逐すべき外来種は発見されず、在来種は同水系の近傍ため池に移動し放流した。	
51	H27	国営附帯県営農地防災事業	那賀川・小松島 (小松島市)	水路	希少水生植物 (クロモ、クロカワズスゲ)	②最小化	・排水路の構造を、多孔質(石張等)とし、水生植物・水生動物の生息空間を復元する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
				水路	魚類 (メダカ、ドジョウ)	③修正	・現況水路と改修水路の接合部において、魚類の移動を妨げない緩傾斜構造とするとともに、移動経路として水田魚道を設置する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				水路	全般	④軽減/消失	・工事の際、濁水の流出、重機からの油類の流出・飛散に注意する。	④軽減/消失	・工事の際、濁水の流出、重機からの油類の流出・飛散に注意した。	—
				水路	小動物	④軽減/消失	・小動物の這い上り水路を設置する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				水路	希少植物 (クロモ、クロカワズスゲ)	④軽減/消失	・個体を影響を受けない場所へ避難させ、工事後、元の場所に戻す。	④軽減/消失	工事期間中、希少植物(クロモ)に影響を受けない場所へ避難させた。希少植物(クロカワズスゲ)は、用水路外の田の畦に生育が確認されていたため、工事に当たって、保護区域を設定し、工事に際して、資材を置いたり、踏み荒らしたりすることが無いよう努めた。	クロモの殖芽を播種した箇所において、生育が確認できなかった。 【原因】播種後の豪雨等により、個体定着前に流亡したと思われる。
				水路	希少植物 (クロモ、クロカワズスゲ)	⑤代償	・改修水路内において、水生・湿生植物の生育空間を創出する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
52	H27	国営附帯県営農地防災事業	那賀川・今津 (阿南市)	水路	水生動物	②最小化	・排水路の構造を、多孔質(石張等)とし、水生動物の生息空間を復元する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				水路	魚類 (メダカ、ドジョウ)	③修正	・現況水路と改修水路の接合部において、魚類の移動を妨げない緩傾斜構造とするとともに、移動経路として水田魚道を設置する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				水路	全般	④軽減/消失	・工事の際、濁水の流出、重機からの油類の流出・飛散に注意する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	—
				水路	小動物	④軽減/消失	・小動物の這い上り水路を設置する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
				水路	希少植物 (コイヌガラン)	④軽減/消 失	・個体を影響を受けない場所へ避 難させ、工事後、元の場所に戻す。	未	配慮箇所周辺の仕事未実施	仕事の未実施
				水路	希少植物 (コイヌガラン)	⑤代償	・個体を近隣の類似環境の場所に 移植する。	未	配慮箇所周辺の仕事未実施	仕事の未実施
53	H27	国営附帯県営農 地防災事業	那賀川・平 島 (阿南市)	水路	希少水生植物 (クモ)	②最小化	・排水路の構造を、多孔質(石張 等)とし、水生植物・水生動物の生 息空間を復元する。	未	配慮箇所周辺の仕事未実施	仕事の未実施
				水路	魚類 (マガカ、トシヨウ)	③修正	・現況水路と改修水路の接合部に おいて、魚類の移動を妨げない緩 傾斜構造とするとともに、移動経路 として水田魚道を設置する。	未	配慮箇所周辺の仕事未実施	仕事の未実施
				水路	希少水生植物 (クモ)	④軽減/消 失	・工事の際、濁水の流出、重機から の油類の流出・飛散に注意する。	未	配慮箇所周辺の仕事未実施	—
				水路	小動物	④軽減/消 失	・転落した際に這い上がれる構造と する。	未	配慮箇所周辺の仕事未実施	仕事の未実施
				水路	希少水生植物 (クモ)	⑤代償	・改修水路内において、水生・湿生 植物の生育空間を創出する。	未	配慮箇所周辺の仕事未実施	仕事の未実施
54	H27	国営附帯県営農 地防災事業	那賀川・南 岸 (阿南市)	水路	希少水生植物 (クモ)	②最小化	・排水路の構造を、多孔質(石張 等)とし、水生植物・水生動物の生 息空間を復元する。	未	配慮箇所周辺の仕事未実施	仕事の未実施
				水路	魚類	③修正	・現況水路と改修水路の接合部に おいて、魚類の移動を妨げない緩 傾斜構造とするとともに、水路への 簡易型水田魚道を設置する。	未	配慮箇所周辺の仕事未実施	仕事の未実施
				水路	希少植物 (コイヌガラン・クモ)	④軽減/消 失	・工事の際、濁水の流出、重機から の油類の流出・飛散に注意する。	未	配慮箇所周辺の仕事未実施	—

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
				水路	小動物	④軽減/消 失	・転落した際に這い上げられる構造とする。	未	配慮箇所周辺の仕事未実施	仕事の未実施
				水路	希少植物 (ヒツバハギ)	④軽減/消 失 ⑤代償	・工事期間中、影響を受けない場所へ避難させ、工事後、元の場所に戻す。 ・近隣の類似環境の場所に、移植する。	未	配慮箇所周辺の仕事未実施	仕事の未実施
				水路	希少水生植物 (クロモ)	⑤代償	・改修水路内において、水生・湿生植物の生育空間を創出する。(クロモ)	未	配慮箇所周辺の仕事未実施	仕事の未実施
55	H27	老朽ため池等整備事業(土地改良施設耐震対策事業)	三村用水 (三好市)		水生動物	②最小化	・頭首工での取水量を調節し、生息区間の水量を確保する。	未	配慮箇所周辺の仕事未実施	仕事の未実施
					全般	④軽減/消 失	・工事の際、濁水の流出、重機からの油類の流出・飛散に注意する。	未	配慮箇所周辺の仕事未実施	—
					希少植物 (イヌハギ)	④軽減/消 失 ⑤代償	・工事期間中、希少植物(イヌハギ)に影響を受けない場所へ避難させる。 ・近隣の類似環境の場所に移植す	未	配慮箇所周辺の仕事未実施	仕事の未実施
56	H28	経営体育成基盤整備事業	大代戎野 (鳴門市)		水生植物※魚類	②最小化	・水路側壁部にブロックネット・フトンかご等を敷設し覆土を行い、水生植物の植生回復により、魚介類の生息空間を創出する。	未	配慮箇所周辺の仕事未実施	仕事の未実施
					全般	④軽減/消 失	・工事の際、濁水の流出、重機からの油類の流出・飛散に注意する。	④軽減/消 失	・計画どおり(工事の際、濁水の流出、重機からの油類の流出・飛散の防止に努めた)。	—
					希少植物 (コキシギシ・コイガラシ)	④軽減/消 失	・個体を生育地の土壌と共に工事の影響のないところに移動し、工事後戻す。	—	・施工区間において、個体を確認できなかった。	未
					希少水生植物 (オニバス)	⑤代償	・オニバスの種子を採取し、水路工事完了後、環境配慮型水路に播種する。	⑤代償	・オニバスの種子を採取し、水路工事完了後、環境配慮型の水路(縁田型水路)に、播種した。 ・生育していることを確認した。	未

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮5原則		モニタリング 結果等・(予定)		
						環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画			
57	H28	老朽ため池等整備事業(農業用河川工作物応急対策事業)	神野 (海陽町)	堰改修	魚類	②最小化	・右岸側魚道の破損による漏水を修復し、新たに詰め石により魚道部の水深・流速に変化を設け、遊泳力の弱い魚種でも機能する形式とする。	②最小化	・計画どおり(魚道の修復にあたって、水深・流速に変化をもたらす詰め石を魚道表面に配置した)。	未
				堰改修	魚類等	③修正	・生物的連続性を確保するため、堰下流部の護床部を現況河床にすり付ける。	③修正	・計画どおり(堰下流部の護床ブロックを現況河床にすりつけ設置した)。	未
				堰改修(重機)	全般	④軽減/消失	・工事の際、濁水の流出、重機からの油類の流出・飛散に注意する。	④軽減/消失	・計画どおり(工事の際、濁水の流出、重機からの油類の流出・飛散の防止に努めた)。	—
				堰改修(工 用道路)	在来植生	④軽減/消失	・仮設道や作業ヤートを最小限とし、在来植生への影響を軽減する。	④軽減/消失	・計画どおり(工事ヤートを必要最小限とした)。	—
58	H29	中山間地域総合整備事業	那賀東部 (那賀町)	ため池堤体改修	魚類 (ナガレホトケドジョウ)	①回避	・ナガレホトケドジョウの確認されたため池上流部は改変をしない旨を設計図書に明示する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
					全般	④軽減/消失	・工事の際、濁水の流下、重機からの油流失、飛散に注意する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	—
						④軽減/消失	・河床間隙を塞がないように河川内への重機の侵入、進入路の設置を最小限とする。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
					希少植物 (ウメバチソウ、トサシモツケ、ヒツバハギ、ナカガワノギク、カリガネソウ、シラン)	④軽減/消失	・生育地を改変しない旨を設計図書に明示し、看板やロープなどを設置する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
					希少植物 (イモト)	④軽減/消失	・種子、殖芽及び個体を採取し、工事後に本種が生育出来るような環境を整え、植え戻し及び播種を行う。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
59	H30	経営体育成基盤 整備事業	芳崎 (阿南市)	ほ場整備	魚類	③修正	・新設および付替え水路と現況水路との接合部において、魚類の移動を妨げないよう緩傾斜とする。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(水路)	魚類	③修正	・函渠部において段差を設け、夏場の水温上昇の抑制や、非灌漑期の水域を確保する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(重機)	全般	④軽減/消失	・工事の際、濁水の流下、重機からの油流出、飛散に注意する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	—
				ほ場整備(畦畔)	希少植物 (ミス'タモジ、アゼ'スケ)	④軽減/消失	・種子を採取し、個体と生育地の土壌と共に工事の影響のないところに移動しておき、工事後植戻し及び播種を行う。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(畦畔)	希少植物 (フジ'バカマ)	⑤代償	・個体と種子を採取し、生育環境の類似した場所に移植及び播種を行う。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
60	H29	経営体育成基盤 整備事業	沼田 (美馬市)	ほ場整備(水路)	魚類	②最小化	・床板を設置する箇所等の魚類の隠れ場所となる水路に水のたまり区間を設ける。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(重機)	全般	④軽減/消失	・工事の際、濁水の流下、重機からの油流出、飛散に注意する。	④軽減/消失	・計画どおり(工事の際、濁水の流出、重機からの油類の流出・飛散の防止に努めた)。	—
				ほ場整備(畦畔)	希少植物 (ヒメミス'ワラビ、コ'ギシギシ、コイヌ'カラシ、ミス'マツバ)	④軽減/消失	・個体を生育地の土壌と共に工事の影響のないところに移動しておき、工事後戻す。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(畦畔)	希少植物 (オオ'カスウリ) ×外来生物 (アレ'チウリ)	④軽減/消失	・隣接他部局の工事範囲で確認されたので他部局との情報共有を行う(オオ'カスウリは保全。アレ'チウリは駆除、場外搬出ししない)。	—	生息地を工事エリアに含む堤防工事担当へ情報提供した。	—

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
				ほ場整備(水路)	×外来生物 (オオカワチシャ)	④軽減/消 失	・生育箇所の土壌を場外搬出しな い。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ほ場整備(畦 畔)	希少植物 (ノカナ)	⑤代償	・種子を採取し、工事完了後、地区 内のさまざまな環境に播種する。	⑤代償	・計画どおり(個体及び種子を採取 し、現地で播種及び移植のモニタ リングを実施し、移植先の検討を行っ た)。 工事後適地に移植する予定。	・一部個体について は、生育していることを 確認した。
61	H29	国営附帯県営農 地防災事業	藍住3期 (藍住町)	用水のパイプ ライン化・水路	魚類	③修正	・移動を妨げないよう、新設および 付替え水路と現況水路との接合部 を緩傾斜とする。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				用水のパイプ ライン化・水路	魚類	③修正	・夏場の水温上昇の抑制や、非灌 漑期の水域を確保するため、函渠 部において段差を設ける。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				用水のパイプ ライン化・水路	全般	④軽減/消 失	・工事の際、濁水の流下、重機から の油流出、飛散に注意する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	—
				用水のパイプ ライン化・水路	在来植生	⑤代償	・生育場所の畦畔などの土を可能 な限り工事に流用する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
62	H29	農道整備事業	伊沢中央 2期 (阿波市)	道路(周辺・法 面)	在来植生	③修正	・工事によってダメージを受けた路 線周辺の植生や、新設農道の法面 を、在来種により緑化を行い自然植 生の回復を図る。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				道路(重機等)	全般	④軽減/消 失	・工事の際、濁水の流下、重機から の油流出、飛散に注意する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	—
				道路	希少植物 (イヌハギ)	④軽減/消 失	・個体を生育地の土壌とともに工事 の影響外へ移動し、工事後に戻 す。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮5原則		環境配慮5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
						環境配慮5原則	主な環境配慮の計画			
				道路	希少植物 (イヌハギ)	⑤代償	・個体と種子を採取し、工事の影響のない類似の環境へ移植及び播種する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
63	H30	老朽ため池等整備事業	塚池 (吉野川市)	ため池堤体改修	希少植物 (コカモヅル)	④軽減/消失	・種子を採取し工事後播種するとともに、個体を土壌とともに避難し、工事後植戻しする。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ため池堤体改修	在来植生	④軽減/消失	・堤体に緑化部分を設ける。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ため池堤体改修	水生動物 (トシヨウ・オオタニシ)	④軽減/消失	・トシヨウは、流入谷川へ移動させる。 ・オオタニシは、池流入部の湿水域に避難させる。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ため池堤体改修	全般	④軽減/消失	・工事の際、濁水の流下、重機からの油流出、飛散に注意する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	—
				ため池堤体改修	×外来種 (スレン・コイ・アメリカザリガニ)	③修正	・スレンは、生育する土壌を工事箇所周辺で乾燥させ駆除する。 ・コイは、ため池外に移す。 ・アメリカザリガニは、減水時に駆除する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
64	H30	老朽ため池等整備事業	花園池 (三好市)	ため池堤体改修	希少植物 (コカモヅル)	④軽減/消失	・種子を採取し工事後播種するとともに、個体を土壌とともに避難し、工事後植戻しする。	④軽減/消失	・コカモヅルの個体及び表土を仮置きした。工事完成後、現地へ移植予定。	未
				ため池堤体改修	在来植生	④軽減/消失	・堤体に緑化部分を設ける。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ため池堤体改修	貝類 (オオタニシ)	④軽減/消失	・池流入部の湿水域に避難させる。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ため池堤体改修	全般	④軽減/消失	・工事の際、濁水の流下、重機からの油流出、飛散に注意する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	—

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
65	H30	老朽ため池等整備 事業	妙見池 (阿南市)	ため池堤体改修	×外来種 (オオクチバス、ブルーギル)	③修正	・ため池からの流出に注意し、駆除するとともに、工事後、特定外来生物放流禁止の啓発活動を行う。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ため池堤体改修	希少植物 (コカモツル)	④軽減/消 失	・種子を採取し工事後播種するとともに、個体を土壌とともに避難し、工事後植戻しする。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ため池堤体改修	希少植物 (スズメノヒエ)	⑤代償	・種子を採取し工事後播種するとともに、生息地の表土を堤体盛り土に利用する(播種、盛り土ともに堤体の水際)。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ため池堤体改修	魚類 (ナミメダカ、シマヒヨシノボリ)	②最小化	・堤体内側の法面保護にブロックマットなど水際植物の生息しやすい構造とし、の生息空間を創出する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ため池堤体改修	貝類 (オオタニシ、マジミ)	④軽減/消 失	・工事の水抜きの際、避難出来るようゆっくりと落水する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ため池堤体改修	水生生物	④軽減/消 失	・避難場所として、ため池内部に溜水域を確保する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ため池堤体改修	全般	④軽減/消 失	・工事の際、濁水の流下、重機からの油流出、飛散しないようにする。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	—
				ため池堤体改修	×外来種 (オオクチバス、ブルーギル)	④軽減/消 失	・特定外来生物を放流されないよう啓発を行う。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
66	H31	老朽ため池等整備 事業	大師池 (美馬市)	ため池堤体改修	希少植物 (オオカスウリ)	④軽減/消 失	・種子を採取し工事後適地に播種するとともに、個体を適地に移植する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
				ため池堤体改修	希少植物 (ミヤコイハラ)	④軽減/消失	・施工業者に保護の啓発を行うとともに、個体に影響を極力与えないよう、仮設道路や重機仮置きを位置を選定する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ため池堤体改修	魚類等 (コクラカセ、オオタニシ)	④軽減/消失	・施工時の減水期に個体を一時避難させ、施工後に同池に戻す。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	工事の未実施
				ため池堤体改修	全般	④軽減/消失	・工事の際、濁水の流下、重機からの油流出、飛散に注意する。	未	配慮箇所周辺の工事未実施	—